

平成 24 年 11 月 13 日発行

自由民主党・世田谷区議会議員

大場やすのぶ 区政報告「世田谷を考える」

世田谷区の 23 年度予算は大体 2400 億円。その執行の結果である決算が区長から報告されましたので、10 月議会で決算に対する特別委員会が開催されました。

私は「暮らしの安心」を中心に道路づくりや環境エネルギーなどについて保坂区長や担当の理事者と質疑しました。

また、厳しい財政状況のなかで区が 95 億円をかけて土地の購入を検討している都立梅ヶ丘病院跡地問題など、将来の区政にとって大きく影響がでることも取り上げました。

区長や区からの答弁からは一步踏み込む姿勢が感じられました。

決算については、予算執行も概ね適切だったことから一般会計ほか全ての認定に賛成しております。

私が決算特別委員会で取り上げた問題は次の項目です。

1. 来年度予算について
 - ・財政基盤なしに区の将来は語れない。一層の行財政改革が求められる。区長の決意を問う。
2. 主要生活道路 130 号線について
 - ・災害対策は喫緊の課題。特に防災街づくりにはスピード感が求められる。住民の陳情に応え議会でも趣旨採択している。区長の姿勢を問う。
3. 環境・エネルギーについて
 - ・マスコミ受けするフォーラムやソーラー事業だけでなく、区民生活に目を向け区民の目線に立った地道な取り組みも必要。既存の国の制度も活用しつつ体系的な取り組みを行うべき。
4. 都立梅ヶ丘病院跡地の購入について
 - ・厳しいと言われる区の財政の中で、区の単費で購入整備する予定である。財政破たんを招かないように、区民とも情報を共有し進めるべき。
5. 区政モニター制度について
 - ・区政モニターのアンケートでみると、家庭教育や学校支援など教育委員会の施策について区民の中の認知度が低いものもある。今後どう生かしていくのか。
6. 区役所本庁舎問題について
 - ・老朽化著しい本庁舎は災害時対応のことを考えると喫緊の課題。区では経費も時間もかけて検討した。判断の時期に来ているが区長の認識は。

7. 信頼ある区政の構築について

・不祥事が起きない信頼ある区政は日頃の仕事の延長にある。かつての事故を風化させずに引き継ぐ研修を。また、減点主義では職員は委縮し、良い仕事もできない。加点主義の人事を。

8. 生涯大学について

・生涯大学が池尻健康増進・交流施設に移転後もひだまり友遊会館で高齢者が安心して使えるような運営を望む。また生涯大学の特徴である高齢者の交流が市民大学との共存で阻害されないような運営を。

これまで私は「子どもの安心」「暮らしの安心」「老後の安心」の三つの安心を掲げてまいりました。これらの安心はいずれも区民の生活に不可欠ですので今後とも取り組んでまいります。

しかし、東日本大震災を経験し、また首都直下型地震も想定される都市生活の中で、私たちは不安と同居するようになってしまいました。また開かずの踏切など都市基盤の整備の遅れは不満や不便のもととなっています。

「不安」と「不満」と「不便」。私は世田谷区民の日々の生活からこれら三つの「不」がなくなるよう今後とも取り組んでまいります。